

I. 広東省

1 中国（広東）輸出ブランド実験室が成立

●18日、中国貿易促進会商業サービス委員会、広東省商業連合会、南方メディアグループ連合は広州市で「2018 アジア経営販売サミット中国ブランドグローバル化フォーラム」を共同開催した。アジア16の国と地域の経営販売協会代表600人あまりが一堂に会し、中国と広東ブランドの国際影響力を強める「アイデアの提案」活動をし、「中国（広東）輸出ブランド実験室」が成立した（19日付「南方日報」10面）。

2 湛江遂溪県日本軍虐殺殉難者記念壁が落成

●9月18日は、「9・18」事象の87周年記念日である。当日、湛江遂溪県湛江遂溪県日本軍虐殺殉難者記念壁が落成した。

※遂溪県湛江遂溪県日本軍虐殺殉難者記念壁は長さ16メートル、高さ2.5メートル、2つに分けられた主要な部分で作られ、中間部分には3本の白色大理石で繋がれ、円弧状となっている。記念壁正面には黒壁に白字で「湛江遂溪県日本軍虐殺殉難者記念壁」及び黒字で白壁に殉難者の氏名が刻まれている。背面には「日本軍虐殺殉難者記念壁」と「愛国主義教育基地」と刻まれ、それを通じて日本軍に殺戮された同胞達に対して供養と追想をする（19日付「南方日報」11面）。

3 第21回全国社会科学院院長合同会議が広州市で開催

●19日、第21回全国社会科学院院長合同会議が広州市で開催された。傅華・広東省委常務委員兼宣伝部部長が出席し演説した。傅華・宣伝部部長は、広東省は新思想の「南方高地」を詳細に解釈する研究を作り出す努力をしなければならないと述べた（20日付「南方日報」2面）。

4 広東省政務サービスネットが開始

●20日、広東政務サービスネットがオンラインで開始された。広東省は「デジタル政府」改革の建設を積極的に推し進め、オンラインとともに省政府のウェブサイトもアップグレードする（20日付「南方日報」6面）。

※「デジタル政府」とは、現代のコンピューター、インターネット通信技術のもと、政府機構の日常事務や情報収集、公布、公共管理などの事務をデジタル化し、インターネット化の環境のもと、国家の行政管理を行う形式である。政府事務の自動化、政府のリアルタイム情報の公布、各級政府間のネット会議、世論調査と社会経済統計の電子化、電子選挙等である。

5 華僑の一带一路と広東・香港・マカオビッグベイエリア建設協力促進交流会が開催

●19日、華僑の一带一路と広東・香港・マカオビッグベイエリア建設協力促進交流会が広州で開催された。李希・広東省党書記、馬興瑞・広東省長、李玉妹・広東省人大常務委員会主任、王栄・広東省政協主席が会議のゲストと会見した（20日付「南方日報」1面）。

II. 広州市

1 広州インターネット法院の初代院長を任命

●17日、第15期市人大常務委員会第16回会議が陳建華・市人大常務委員会主任主宰のもと開催された。会議では張春和氏が初代広州インターネット法院院長に任命された（18日付「広州日報」1面）。

2 中国製造業イノベーション総会が広州市で開催

●18日、2018中国製造業イノベーション大会が広州で開催された。李希・広東省党書記、苗圩・工業情報化部長、馬興瑞・広東省長が会議に出席し、挨拶をした。苗圩・部長は、広東省は改革開放の先駆けとして、発展をしていく中で重要な模範的な作用を発揮し、中国は製造大国から製造峡谷へ邁進していくと述べた（19日「広州日報」1面）。

III. 深セン市

1 台風「山竹」による保険請求の受理件数が11,167件

●深セン市保険同業公会によれば、17日午前7時までに台風「山竹」による保険請求の受理件数が11,167件で、金額は1.46億元に達した。そのうち自動車保険に関する保険請求の受理は10,406件、9,035万元だった（19日付「深セン特区報」4面）。

2 王偉中・深セン市党書記が徐浩良・国連事務次長補と会見

●19日、王偉中・党書記が徐浩良・国連事務次長補兼国連開発計画（UNDP）アジア太平洋局長と会見した。王偉中代表は深セン市の経済・社会の発展状況について紹介した。環境を重視して持続可能な開発を促進し、中国の特色ある社会主義の巨大な優位性を表現していくと述べた。徐浩良・次長補は、イノベーションを率いる超巨大都市の持続可能な開発の方面では中国が率先して役割を果たしている。国連開発計画と深センは継続して多くの領域で協力していきたいと述べた（20日「深セン特区報」1面）。

3 バイオ医薬と金融イノベーションフォーラムが開催

●20日、深セン華大基因科技公司（BGI）と藍色彩虹科技会社が主催したバイオ医薬と金融医のベイションフォーラムが深セン会展センターで開催された。2018深セン国際BT首脳サ

ミットのイベントの一つであり、このフォーラムは国内外の多くの生命・健康領域の専門家、中国・アメリカ両国の企業及び機構が多くのプロジェクトイノベーションの成果を事前発表した。共同で技術イノベーションと資本をつなぎ合わせていく（21日付「深セン特区報」10面）。

※華大基因科技公司（BGI）は、中国の一民間企業である。1999年に北京で設立された。多くのシーケンサー（塩基配列解析装置）を用いて大量のゲノム解読を行っている。世界最大のゲノム情報生産拠点となっている。世界各国との共同研究も進め、その成果を多くの有名雑誌に掲載している。一方でBGIの活動は単に大型のシーケンサーを並べて機械的に読み取るだけの工場ではないか、イノベーションがないという意見もある（2012年11月19日「Science Portal China」）。

IV. 福建省

1 福建省代表団が訪日

●10日～13日、王寧・福建省委副書記兼福州市書記一行が自民党の要請により訪日し、二階自民党幹事長、井上義久公明党幹事長、福井照内閣特命担当大臣、経団連・JETRO等の経済会代表等と会見した。日中「一帯一路」協力について話し合った（15日付「福建日報」1面）。

2 福建省の8月の貿易額が過去最高を記録

●アモイ税関の統計によれば、8月の福建省の貿易額は8,214億元となり、前年同期比で7.6%増となった。そのうち、輸出は4,999.7億元（同比6.2%増）、輸入は3,215.2億元（同比9.8%増）であり、全国8位の規模（19日付「福建日報」1面）。

（了）